

# 令和7年度 障害者支援施設 白川学園

## 地域連携推進会議 議事録

開催日時 令和8年2月15日(日) 13時30分～14時30分

会場 社会福祉法人 白川学園 春風館 1F (多目的館)

出席者 施設代表 施設長  
副施設長 (サービス管理責任者)  
入所者代表 1名  
家族代表 (保護者会会長) 1名  
保護者会参加者 3名  
地域の代表 1名

### 1. 開会／挨拶

社会福祉法人白川学園が運営する障害者支援施設白川学園の施設長より本会議の趣旨と構成メンバーについて説明を行い、本日の出席に謝辞を述べる。

### 2. 構成メンバーの紹介

施設長より保護者会参加者に「家族代表」「入所者代表」「地域代表」となるメンバーを各々紹介する。

### 3. 令和7年度の主たる支援方針について

施設長より以下の説明がされた。

児童と成人の生活拠点が分離して2年が経過し、それぞれの機能特性を生かしたさらなる支援体制の構築に努めてきた。成人部の重点項目としては、入所者の自己決定を尊重し、それらに基づく日中の生活や支援の提供に留意している。畑作業やクッキング、創作活動など日中活動の中身を充実させ、入所者の充足や満足に繋がる支援を心掛けているが、特定の作業や決められた活動にコンスタントに参加するのが難しい入所者に対し、日中活動を如何にして提供していくかは引き続き大きな課題である。また、令和8年度より入所者本人の地域移行に関する希望確認と、それに基づく個別支援計画作成が義務付けられるに当たり、意思決定支援マニュアルを作成し、地域移行等意向確認担当者の選任を進めている。

### 4. 不適切処遇の防止に向けた取組みについて

施設長より以下の説明がされた。

入所者の人権を著しく毀損する悪質な施設内虐待の防止を徹底することは言うに及ばず、日常の言葉掛けや接し方などに注意し、思いやりある処遇や支援の浸透や定着を目指すため、新規採用者研修、全体研修、処遇及び支援検討会の開催や外部研修への参加などを進めている。

## 5. 事業継続計画（＝BCP）に伴う取組みについて

施設長より以下の説明がされた。

災害などの緊急事態においても事業継続できるよう新規採用者研修、災害想定避難訓練、感染症等予防委員会（年４回）及び研修・想定訓練（２回）を実施し、対策に努めている。尚、通常の火災訓練は毎月１回、北消防署立会い訓練は年２回行っており、また緊急時に対応できるよう保存用の水と食料３日分を備蓄している。そして、９月に「防災の日」を設け、消費期限を迎える前に保存食などは順次活用すべく、昼の給食での提供を行っている。

## 6. 行事等の報告

施設長より以下の説明がされた。

家族参加行事としては定例となっている「春風祭」（５月）、「盆踊り」（８月）、「運動祭」（１０月）、「クリスマス会」（１２月）を開催した。また、日中活動とは別に、余暇活動の充実を図るべく、入所者一人ひとりの好みや必要な配慮に応じた外出プログラムを計画し、社会体験の機会を保障すべく取り組んでいる。尚、参加者に偏りが生じないようにチェックリストを作成し、重度の障害や難しい行動特性を有する入所者であっても外食や遠足、旅行などの機会を増やしていきたい。今年度、一人一回は一泊旅行を目標にし、医療面などから考慮せざるをえなかった数名を除き、ほぼ全員について達成できた。

## 7. 社会啓蒙事業について

施設長より以下の説明がされた。

障害福祉や児童福祉分野における後進育成に広く貢献するため、施設長や副施設長などを中心に、保育士養成校や障害福祉従事者の資格研修などに講師派遣を行っている。また、法人全体では保育士養成校などから３０名前後の学生実習生を毎年受け入れている。実習生の受け入れによって、施設が第三者の目に常時触れることで、施設や職員には良い意味の緊張感が備わり、支援の質の向上に繋がると考える。尚、現職員の中に実習生を経て就職した者は多く、人材確保の面からも有意義である。

## 8. 人材育成について

施設長より以下の説明がされた。

職員の専門知識の習得や支援技能の向上を図るため、園内研修及び外部研修に積極的に職員を参加させている。職員の経験年数や立場、能力等に応じた研修内容の選定は副施設長が主として行っている。また、外部研修の場合は、参加職員による園内での伝達研修も適宜行っている。

## 9. 参加者からの意見など

### 【地域の代表】

余暇活動の一環で外出をするなどは入所者の社会参加の視点から大切と感じる。目的のある“お出掛け”ではなくても、近隣の散歩や公園の利用などは入所者の気分転換や軽い運動の機会となり、また地域の人の目に自然と触れる機会が生まれるので社会啓蒙の点からも意味を持つと考える。そうした身近な取組みを増やしていくと良いのではないかと考える。

【家族代表（保護者会会長）】

保護者会の定例会は毎月第3日曜に行っていて、副施設長や職員からは近況報告を受けるなど保護者会と施設側の繋がりを大切にしてきたが、今回、地域連携推進会議として資料などによって「見える化」をして貰えたことで、白川学園の運営方針や取組みがより分かりやすく有難かった。

【保護者会参加者】

資料で職員研修の実績が掲載されていたが、年間を通じて施設内・外部研修共に頻繁に行われていることが初めて分かった。保護者の側から見えづらい施設の取組みを知れて良かったし安心もした。

【副施設長】

施設長の説明にもあったが、令和8年度からの地域移行に関する本人さんの意向確認に際しては、保護者の方のご意向や希望なども確認させていただくことになるのでご理解とご協力をお願いしたい。また、その際にご不明な点や疑問等があれば相談いただきたい。

10. 閉会の挨拶

頂いた意見や感想を今後の支援に活かし、より良い白川学園を築いていけるよう努めると共に、今後も保護者会や地域との連携を重視していきたいので、ご理解とご協力をお願いし、閉会とした。

11. 面会及び施設見学

保護者会からの参加者はお子さん等との面会を兼ねて、地域の代表は施設見学や職員との交流のため成人棟へ移動する。